



平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

会社名 **イーバンク銀行株式会社**

URL <http://www.ebank.co.jp>

代表者 代表取締役社長

國重 惇史

TEL (03)3509-6787

問合せ先責任者 財務本部長

大塚 年比古

配当支払開始予定日 平成 - 年 - 月 - 日

特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	15,599	(27.2)	35,735	()	35,638	()
20年3月期第3四半期	12,255	(23.3)	11,604	()	11,639	()

	1株当たり 四半期純利益(注2)	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	50,767 70	
20年3月期第3四半期	17,723 80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率 (注1)	1株当たり 純資産(注2)	連結自己資本比率 (国内基準)(注3)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	813,518	10,156	1.1	13,412 01	9.27
20年3月期	810,156	16,336	1.9	23,674 56	11.64

(参考)自己資本 21年3月期第3四半期9,661百万円 20年3月期15,693百万円

(注)1. 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 「1株当たり四半期純利益」及び「1株当たり純資産額」は、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。

なお、平成21年2月10日付けで乙種優先株式666,000株につき普通株式を対価とする取得請求がなされております。参考として、当該取得請求が平成21年3月期第3四半期末日において取得請求されていたと仮定した場合の「1株当たり四半期純利益」は50,593円14銭及び「1株当たり純資産額」は6,731円52銭となります。

3. 「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

なお、平成21年3月期第3四半期より「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準の特例(平成20年金融庁告示第79号)」を適用して算出しております。

2. 配当の状況

前年同四半期及び当四半期のいずれにおいても当該四半期会計期間のいずれかの日を基準日とする配当を行っておりませんので、当該項目の記載は省略しております。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

当行グループの業績は、運用調達業務における業績の影響を強く受けますが、同業務の業績は国内外の金融商品市場動向等の不確定要素により大きく左右されます。したがって、投資家に誤解を与える可能性を極力排除するため、現時点において次期の連結業績予想は記載しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

会計基準の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 770,481株 20年3月期 663,926株

期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,162株 20年3月期 1,057株

期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 701,935株 20年3月期第3四半期 644,275株

(5) 公認会計士又は監査法人による監査の有無 : 無

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の経常収益については、内国為替手数料、口座振替手数料の増加が堅調に推移したことに加えて、スポーツ振興くじ「toto」の取扱販売高の増加、VISAデビット機能付きキャッシュカード（以下「イーバンクマネーカード」という。）の発行枚数の増加、ATM利用手数料の有料化、外貨預金残高の増加等により電子決済サービス業務収益は大幅に増加しました。金融サービス販売業務関連収益は、市況の低迷による投資信託販売の不振、特約定期預金にかかる金融派生商品収益が低迷したものの、外為証拠金取引の取扱手数料が好調だったことにより増加しました。一方、運用調達業務においては、市場環境の悪化による信託財産であるファンドオブファンズの運用成績の悪化によりその他経常収益が減少したものの、国債を中心とした運用資産ポートフォリオの積み上げを行ったため、資金運用収益は増加し、運用調達業務関連収益は増加しました。結果として、経常収益は155億99百万円となりました。

経常費用については、経費削減により営業経費が減少したものの、預金量の増加、社債の発行により資金調達費用、業容の拡大に伴い役務取引等費用が増加しました。加えて当行が保有する外国債券等の減損・評価損等によりその他業務費用が、株式等の減損やファンドオブファンズの運用成績の悪化による運用損や不動産価格下落による貸倒引当金の増加等によりそれぞれ顕著に増加しました。結果として、経常費用は513億34百万円となりました。その結果、経常損失は357億35百万円となりました。特別損失はコールセンター移転等に伴う固定資産除却損等により25百万円となりました。上記の結果、四半期純損失は356億38百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、ファンドオブファンズ及び外国債券を減少させる一方で、国債を中心とした投資を行った結果、8,135億18百万円となりました。負債の部合計は、預金の順調な増加と社債の発行により、8,033億62百万円となりました。純資産の部合計は、平成20年9月の株主割当増資及び第三者割当増資により資本金及び資本剰余金が増加したものの、四半期純損失により利益剰余金が減少した結果、101億56百万円となりました。

上記の結果、当第3四半期連結会計年度末における連結自己資本比率（国内基準）は9.27%となりました。

3. 【四半期連結財務諸表】
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部			
現金預け金	42,964	35,122	54,342
コールローン		54,000	
買入金銭債権	34,166	26,575	31,052
金銭の信託	46,620	7,089	35,750
有価証券	594,022	676,991	668,476
貸出金		1,500	
外国為替	1,990	1,810	1,791
その他資産	20,196	17,735	13,775
有形固定資産	1,038	707	914
無形固定資産	7,030	5,899	5,967
繰延税金資産	31	31	30
貸倒引当金	203	13,945	1,944
資産の部合計	747,858	813,518	810,156
負債の部			
預金	694,642	771,809	758,972
社債		10,000	10,000
その他負債	25,287	20,062	24,614
賞与引当金	67	69	132
ポイント引当金	69	188	100
特別法上の引当金		0	0
繰延税金負債		1,231	
負債の部合計	720,067	803,362	793,820
純資産の部			
資本金	38,414	50,002	38,414
資本剰余金	5,437	17,025	5,437
利益剰余金	11,643	59,046	23,408
自己株式	113	114	113
株主資本合計	32,094	7,866	20,329
その他有価証券評価差額金	4,614	1,795	4,636
繰延ヘッジ損益	47		
評価・換算差額等合計	4,567	1,795	4,636
少数株主持分	265	495	643
純資産の部合計	27,791	10,156	16,336
負債及び純資産の部合計	747,858	813,518	810,156

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)		
	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
経常収益	12,255	15,599	18,309
資金運用収益	5,171	6,070	7,173
(うち貸出金利息)		12	
(うち有価証券利息配当金)	4,253	5,288	5,938
役務取引等収益	5,552	7,365	8,219
その他業務収益	234	2,021	863
その他経常収益	1,297	142	2,052
経常費用	23,859	51,334	40,845
資金調達費用	3,225	5,157	4,644
(うち預金利息)	3,225	4,714	4,644
役務取引等費用	2,357	2,903	3,262
その他業務費用	5,237	17,590	13,031
営業経費	10,811	9,198	14,274
その他経常費用	2,227	16,483	5,631
経常損失()	11,604	35,735	22,535
特別利益	51		
特別損失	95	25	942
固定資産処分損		22	902
金融商品取引責任準備金繰入額			0
その他の特別損失		2	39
税金等調整前四半期純損失()	11,648	35,761	23,477
法人税、住民税及び事業税	5	9	10
法人税等調整額	0	1	0
法人税等合計		8	
少数株主損失()	13	131	85
四半期純損失	11,639	35,638	23,403

(3)(要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

	(単位：百万円)		
	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	前連結会計年度の連結 株主資本等変動計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
株主資本			
資本金			
前期末残高	32,335	38,414	32,335
当四半期変動額			
新株の発行	6,078	11,588	6,078
当四半期変動額合計	6,078	11,588	6,078
当四半期末残高	38,414	50,002	38,414
資本剰余金			
前期末残高		5,437	
当四半期変動額			
新株の発行	6,075	11,588	6,075
資本剰余金の欠損金填補	637		637
当四半期変動額合計	5,437	11,588	5,437
当四半期末残高	5,437	17,025	5,437
利益剰余金			
前期末残高	642	23,408	642
当四半期変動額			
四半期純利益	11,639	35,638	23,403
資本剰余金の欠損金填補	637		637
当四半期変動額合計	11,001	35,638	22,766
当四半期末残高	11,643	59,046	23,408
自己株式			
前期末残高	113	113	113
当四半期変動額			
自己株式の取得		1	
当四半期変動額合計		1	
当四半期末残高	113	114	113
株主資本合計			
前期末残高	31,579	20,329	31,579
当四半期変動額			
新株の発行	12,153	23,176	12,153
四半期純利益	11,639	35,638	23,403
自己株式の取得		1	
当四半期変動額合計	514	12,463	11,250
当四半期末残高	32,094	7,866	20,329
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金			
前期末残高	1,724	4,636	1,724
当四半期変動額			
株主資本以外の項目の当四半期変動額(純額)	2,890	6,431	2,911
当四半期変動額合計	2,890	6,431	2,911
当四半期末残高	4,614	1,795	4,636
繰延ヘッジ損益			
前期末残高			
当四半期変動額			
株主資本以外の項目の当四半期変動額(純額)	47		
当四半期変動額合計	47		
当四半期末残高	47		
評価・換算差額等合計			
前期末残高	1,724	4,636	1,724
当四半期変動額			
株主資本以外の項目の当四半期変動額(純額)	2,842	6,431	2,911
当四半期変動額合計	2,842	6,431	2,911
当四半期末残高	4,567	1,795	4,636
少数株主持分			
前期末残高	293	643	293
当四半期変動額			
株主資本以外の項目の当四半期変動額(純額)	28	148	349
当四半期変動額合計	28	148	349
当四半期末残高	265	495	643
純資産合計			
前期末残高	30,148	16,336	30,148
当四半期変動額			
新株の発行	12,153	23,176	12,153
四半期純利益	11,639	35,638	23,403
自己株式の取得		1	
株主資本以外の項目の当四半期変動額(純額)	2,871	6,283	2,561
当四半期変動額合計	2,356	6,179	13,812
当四半期末残高	27,791	10,156	16,336

4. その他の情報

(1) 「金融再生法ベースの категорияによる開示」(連結)

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	平成19年12月末	平成20年12月末	平成20年3月末(実績)	
破産更正債権及びこれらに準ずる債権				
危険債権		15		
要管理債権				

(注) 上記は、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づいたものであります。

(2) 連結自己資本比率(国内基準)

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	平成19年12月末	平成20年12月末	平成20年3月末(実績)	
自己資本比率	9.13%	9.27%	11.64%	
基本的項目(Tier 1)比率	15.55%	6.95%	10.45%	
自己資本の額	162	111	181	
基本的項目の額	277	83	163	
総所要自己資本額	71	48	62	

(注) 平成19年金融庁告示第15号に基づき開示しております。

(3) 単体自己資本比率(国内基準)

	(単位:億円)		(参考)	(単位:億円)
	平成19年12月末	平成20年12月末	平成20年3月末(実績)	
自己資本比率	8.93%	8.45%	10.91%	
基本的項目(Tier 1)比率	15.31%	6.40%	9.95%	
自己資本の額	160	102	171	
基本的項目の額	274	77	156	
総所要自己資本額	71	48	62	

(注) 平成19年金融庁告示第15号に基づき開示しております。

(4) 時価のある有価証券の評価差額(連結)

評価差額

	(単位:億円)				(参考)	(単位:億円)		
	平成19年12月末		平成20年12月末		平成20年3月末			
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額		
その他有価証券 株式 債券 その他	5,882	66	6,675	2	6,679	145	13	158
	1	0	0	0	0			
	5,265	1	6,352	49	6,083	24	9	34
	615	67	322	52	595	121	3	124

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位:億円)				(参考)	(単位:億円)		
	平成19年12月末		平成20年12月末		平成20年3月末			
	帳簿価格	含み損益	帳簿価格	含み損益	帳簿価格	含み損益		
満期保有の債券			70	1		うち益	うち損	
子会社・関連会社株式								

(5) デリバティブ取引(連結)
金利関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成20年12月末			(参考) 平成20年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物 金利オプション									
店頭	金利先渡契約 金利スワップ 金利スワップション 金利オプション その他	1,260	0	0	1,475	0	0	1,289	0	0
	合計		0	0		0	0		0	0

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。

2. 時価の算定

平成19年12月末においては、取引金融機関から提示された価格によっております。

平成20年3月末以降においては、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

3. 金利スワップション取引には、当行において区別して把握することが困難な金利スワップ取引を含めて表示しております。

通貨関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成20年12月末			(参考) 平成20年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物 通貨オプション									
店頭	通貨スワップ 為替予約 通貨オプション その他	472	1	1	1,107	29	29	890	4	4
	合計		1	1		29	29		4	4

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。

2. 時価の算定

為替予約取引...先物為替相場によっております。

株式関連取引

区分	種類	平成19年12月末			平成20年12月末			(参考) 平成20年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物 株式指数オプション							21	0	0
店頭	有価証券店頭オプション 有価証券店頭指数等スワップ その他									
	合計								0	0

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。

2. 時価の算定

取引所取引につきましては、東京証券取引所等における最終の価格によっております。

債券関連取引

該当事項はありません。

商品関連取引

該当事項はありません。

クレジットデリバティブ取引

区分	種類	平成19年12月末			平成20年12月末			(参考) 平成20年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・オプション									
	その他	20	0	0	75	30	30	167	98	98
	合計		0	0		30	30		98	98

(注) 上記取引については時価評価を行い、評価損益を四半期連結損益計算書に計上しております。